



# 設定資料集

～2nd Anniversary 冊子より～

# Story

## 白の大地

太陽と月が存在し、  
草木が生い茂る恵みの大地。  
多くの国や街があり栄える一方、  
豊かさゆえの覇権争いが絶えず、  
国によっては徹底的な  
管理主義による統治が行われている。

## 黒の大地

常に薄暗く、昼夜の区別がほとんどない。  
草木の育ちにくい不毛の大地。  
住んでいる生き物の多くは飢えており、獰猛。  
この大地で民を束ねるには  
力の誇示が絶対的に不可欠である。

## オセロニアの世界

白と黒に分かれる、戦いの世界。  
様々な種族、勢力、国が存在し、  
絶え間なく争いが続いている。

Othellonia

## 神々

### 神々

超常の力を顕現する種族。  
各々が何かしらの概念や事象を  
司っており、高位の者であれば、  
手や足を動かすような感覚で、  
強大な力を行使することができる。  
エリア(無数の国々で形成する地  
域)の統治者のほとんどは神々で  
あり、実質的に世界を管理している  
種族であるといえる。



## 神々

### 神々の力 / 統治者としての神々

神々が強大たる所以は、「善」や「悪」といった概念や、「癒やし」、「破壊」といった事象そのものを顕現することができる点にある。

例えば「善」を司る者ならば、人々に希望をもたらし、光を与えることができ、「破壊」という事象を顕現させ、脅威を砕くこともできる。統治者として君臨する神々が多いのも、その力の強大さと加護の力を頼られているためである。

有名なところではアスガルドのオーディン、オリュンポスのゼウス、冥界のハデス等が挙げられる。統治者ではないが、「勝利」や「豊穡」を司る神々も人々の崇拝の対象となることが多い。

### 邪神 / 破壊神

「悪」や「欲動」、「破壊」といった概念、事象を司る神々。

司るものに準じた性質を有しており、非常に危険な存在である。彼らが顕現する力は、世界に混乱と破壊を巻き起こすものであり、そのことから、一般的に世界に仇なす存在とされている。

しかし、彼らを崇拝する者も少なからず存在し、見返りに闇の加護を授けることもあるという。

邪神、破壊神崇拝者は、黒の大地に住まう者たちが大半だが、白の大地に住まう者の中にも少なからず存在する。



## 天使



## 天使

背に翼を有し、強大なエレメント顕現能力を有する種族。

そのほとんどが白の大地最大の戦力である天軍の構成員。

翼の数が多いほど強い力を持っており、六枚以上の翼を持つ者は高位の神々に匹敵する力を持つ。

また、神々ほどでないが、事象顕現の力も行使することができる。

## 天使

### 天軍

天界に属する天使によって構成された軍隊。

オセロニアで最大の武力を有しており、法の管理者として白の大地の秩序と正義を守護するために戦っている。四大天使であるミカエル、ウリエル、ガブリエル、ラファエルによって統制されており、総指揮を執るのはミカエルである。

秩序の守護の下に、他国に強制的な介入をすることも少なくはなく、天軍に対してよくない顔をする国も多いが、彼らによって多くの弱き者たちが救われているのは事実である。



### 天界に属さない天使

アスガルドのオーディンに仕えるヴァルキリーたち、放浪する死の天使アズリエル等、天界に属さない天使も存在する。

特にヴァルキリーは天界以外では最大の天使の派閥であり、天軍に比べると少数ながらも、戦士としての技量は天軍の天使以上と言われている。

ヴァルキリーは女性のみで構成されており、有事の際はエインヘリヤルと呼ばれる戦士を率い、オーディンの剣となって敵を滅ぼす精鋭である。



## 人間

### 人間

神々や魔族等の血が、長い世代交代の中で薄まっていった結果、生まれた種族。オセロニア最大の人口を誇り、白、黒の大地両方に広く存在する。身体能力や異能という面では他種族に後れを取るが、文化、技術体系等の分野では他を圧倒する。



## 人間

### 文化と技術

身体能力や神力、魔力といった異能で他の種族に劣る人間は、そうであるからこそ発想力に優れており、多くの文化や技術を発展させてきた。

各地域ごとの特色や、建造、調理、服飾、鍛冶等のあらゆる分野の進歩は、人間の力なくしてはありえなかったと言えるだろう。

また、他の種族に渡り合うため、武術や魔術といった技術も編み出し、研鑽を重ねた結果、戦闘の面でも拮抗するほどの力を身につけつつある。



### 憑依者

力ある魔物や竜を倒すと、ごく稀にその力が倒した者に宿ることがある。

これを憑依継承と呼び、その状態の者を憑依者と呼ぶ。

憑依者は人智を超えた力を手にするが、その代償として憑依した力から徐々に侵食を受けることになる。憑依の形態は様々で、身体が変化してしまっている者もいれば、その力が一種のエネルギー体として宿っているというケースもある。





## 獣人



## 獣人

身体能力に優れ、優秀な戦士が多い種族。

獣人の中でも見た目によって複数の種族に分かれており、秀でる能力も異なる。

人間同様、白、黒の大地両方に広く存在している。

## 獣人

### 人狼族

狼の特徴を持つ獣人の一族。

非常に強靱な体を持ち、こと俊敏性に関してはオセロニア全種族中トップを誇る。加えて咬合力や指の力が強く、たとえ武器を持っていなくとも重武装の戦士と互角以上に渡り合うことができる。

また、嗅覚が優れており、一度かいだ匂いならどこまでも追跡できる等、生来のハンターと言うべき能力を有している。



### 山羊族 (パーン)

山羊の特徴を持つ獣人の一族。

山羊族は成人しても子供のような体躯の一族だが、その身体能力は非常に高い。そして、召魔術という独自の術を持っており、高位の神や悪魔すら打ち倒す程の力を持っている。戦士としても優秀であり、その体躯に見合わない力で巨大な武器を振るったりする。

## 妖精

### 妖精

多種多様な見た目を持つ、神秘の存在。

フェアリー、猫妖精、犬妖精等、様々な姿をした者がいる。

国としては閉鎖的なものが多いが、個々で見ると好奇心が旺盛で、それぞれの国から飛び出し、世界を放浪している者が多い。



## 妖精

### 猫妖精

猫の姿をした妖精。

気まぐれでイタズラ好きな者が多い。

アスガルドに国が存在し、猫王ケット・シーが治めている。

妖精の中ではかなり拓けており、人間とも交易を行っているため(人間以上にがめついという噂もある)、人間の街でもその姿を見かけることが多い。

その愛らしい見た目から、特定の愛好家から常に熱い視線を向けられている。



### ニンフ

美しい女性の姿をした精霊。

その多くは黒の大地にある冥界に住んでいる。

海精、水精、木精、山精、森精、谷精、冥精等が存在し、体の一部が名前に応じたエレメント(木や水や岩等)に変化している。それぞれがその名に冠した力を自在に操れるため、見た目の美しさで彼女たちを侮ると、痛い目にあうことになる。



## 悪魔



## 悪魔

天使や神々と対立する、黒の大地で最も力を有する種族。各個体ごとに異なる能力を持ち、そのどれもが強力である。特徴として頭部に角を有しており、それが能力の発動に関わっているため、角を失うと再生するまで能力の使用や調整が困難になる。個人主義な者がほとんどで、強者ほど単独で行動する傾向にある。

## 悪魔

### 七罪

魔界で最大の力を誇る、七大魔王の通称。

ルシファーを長とし、サタン、ベルゼブブ、アスモデウス、レヴィアタン、ベルフェゴール、マモンというメンバーで構成されている。

多くの悪魔や魔族、魔物を従えており、魔界最大の勢力としてその通称が使われることもある。白の大地、特に天界とは明確な敵対行動を取っており、その目的は白の大地を奪うことだとされているが、確かな情報ではない。ちなみに、軍としての練度は天軍が優れているが、純粋な戦闘能力では勢力としての七罪に軍配があがるという。



### 墮天使

天使がその属性を「反転」させて悪魔となった者。

天使から悪魔に変わることから、一般的に「反転」のことを「墮天」と呼ぶことが多い。

原理は不明であり、激しい怒りや悲しみ、絶望といった負の感情が引き金になると言われている。

このことから、天使と悪魔は基本的に同じ種族であり、姿の差は、表面化している性質の違いでしかないという説を唱える学者もいるが、証明はされていない。

## 魔族

### 魔族

魔力の扱いに長けた種族の総称。  
非常に多種多様な種族で、同じカテ  
ゴリーに収めることが難しく、  
魔族という総称で呼ばれるよう  
になった。  
共通している項目としては、人の姿  
をしているということくらいである。



## 魔族

### 吸血鬼

日光を嫌い、夜に生き、血を吸う魔族の代表格。  
血を武器のように操る、その身を蝙蝠や狼、霧に変化させる、魔眼で対象を魅了する、念動力であらゆるものを粉碎する等、恐るべき異能を複数持ち合わせる、まさに夜の王というべき一族。  
その中でも「真祖」と呼ばれる、純血かつ古参の吸血鬼は、七罪に匹敵するほどの力を有しているとされている。日光の下では力こそ弱まるが、灰になりはしない。にんにくも効果はなく、唯一、銀製の武器を苦手としている。



### アンデッド

厳密には魔族ではなく、「死した者たち」である。  
魔族ではないが、魔力の扱いに長けているという点では同じであるため、魔族と同様に扱われることも少なくない。すでに死んでいるため不老不死であり、倒すには竜族クラスの圧倒的な破壊力か、強大な神聖力、または特別な手段が必要である。ちなみに、魔法によって自らをアンデッドや吸血鬼に変えることを「転化」と呼び、その術は忌まわしきから禁呪に指定されているものがほとんどである。





# 竜



## 竜

古の昔から在り続ける、  
生粋の戦闘種。  
純粹な戦闘能力では並ぶ者がいな  
い種族で、年齢を重ねるごとに  
その力は高まっていく。  
ある一定の年齢を超えた者を「エル  
ダークラス」と呼び、天災と  
同様の災害と指定されるほどの力を  
持つ竜もいる。

# 竜

## 最強の戦闘種

山のように巨大な体躯、あらゆる武器、術を弾く鱗、巨人を凌駕する臂力等、その生物的特徴だけで他の種族を圧倒する。

加えて異能の数々を有し、最大の攻撃であるブレスは神々の事象顕現すら容易く打ち砕く。それゆえ、竜を倒すためには最低でも大隊クラスの戦力が必要とされている。以上の点からも、疑問の余地なく竜こそオセロニア最強の種族であると言えるだろう。



## エルダークラス

長い年月を生きた竜は、尊敬と畏怖を込めてこう呼ばれる。その力は天災と同等かそれ以上であり、一個体で国を滅ぼすことすら容易である。また、個体によってはただ移動するだけで気候や生態系に影響を及ぼすこともあり、そういった者は「災害指定」とされ、天界や統治者である神々から常にその動向を監視されている。



## 竜人

### 竜人

竜と人の特徴をあわせ持つ種族。  
竜の特徴が顕著である者と、人の  
特徴が顕著である者の二種類が  
存在するが、ともに同じ竜人である。  
竜の血を引いているためか、身体能  
力が高く、強靱で、戦闘能力が  
非常に高い。



## 竜人

### ドラゴロイドとドラゴニュート

種族的には同種ではあるが、見た目の差から、ドラゴロイドとドラゴニュートに呼び分けられる。

頭部が竜の形状であり、足が獣脚である者をドラゴロイド、角と尾以外はほぼ人間と同じ特徴の者をドラゴニュートと区分している。比較するとドラゴロイドのほうが強靱で、身体能力が高い傾向にあり、これは体に流れる竜の血の差ではないかという説がある。また、「竜化」と呼ばれる、肉体の一部を先祖がえりさせるという異能が、ドラゴニュートだけに確認されている。



### ノーブルホーン

竜人の中でごく少数に見られる特徴で、感情や力の高まりに合わせ、頭部の角が青く発光する。この特徴を持つ者は、潜在的に大きな力を秘めているとされ、それを証明するように、角が青く光っている際には爆発的な力の上昇が確認できる。

その力の高さゆえ、戦場に身を置く者の間では、「青角にあったら逃げ出せ」という話があるほど。



## ゴブリン & オーガ

### ゴブリン

亜人種一派。  
集団生活を基礎とし、独自の文化を形成している。  
知性は高く、オークやオーガたちよりも抜きん出ている。体躯は細身に俊敏性に富んでいるが、強靭さはそこまでではないため、武力に頼った生活はしていない。  
意外にも商売上手な者が多く、旅商として世界を巡っている者も多い。  
ちなみに、商品は人間を襲って奪ったものもあつたりする。

### オーガ

亜人種一派。  
ゴブリンやオークと違い、集団ではなく単独での生活を基本としている。  
理性的ではなく、どちらかというとも本能のままに生きており、その姿は魔物に近いものがある。本能に根ざした衝動的な理由で戦い、非常に凶暴。  
ゴブリン族のような一個体が脆弱な種族を好んで襲う等、類を見ない残忍さも持ち合わせている。

## 巨人 & 魔獣



### 巨人

5m以上の身長を誇る種族。  
巨大な体と、すさまじい臂力に任せた攻撃を得意とする。  
特筆すべきはそのタフさで、肉体的な強靭さなら、竜に匹敵するほどである。  
霜の巨人、炎の巨人等、肉体にエレメントの力を宿してる者もあり、上記の特徴とあわせると肉体自体が武器と言っても過言ではない恐るべき種族である。  
霜の巨人であるスリュムが王として君臨している。



### 魔獣 / 魔物

主に黒の大地に生息する、強大な力を持った生物の総称。  
凶暴かつ獰猛で、獲物を見つけ次第容赦なく襲いかかる。  
稀に知能が高く、人語を解す者もあり、獣人や悪魔、魔族とパートナーの関係を結ぶこともある。もちろん、おとなしい性質の者もいるが、魔獣、魔物であることに変わりはないため、気を抜かず慎重に接することをお勧めする。

プロローグで使用している背景



プレイヤーは奥に見えるコロシウムへ向かい  
コロシウムでの運命の初戦を迎える、というストーリーを  
イメージして制作された。

## 空に鎮座する神殿

神殿の背景は、美しい楽園をイメージ。

場所は空にある祈りの広場で、奥にある建物も空に浮いている。  
住みやすく、豊かな世界を象徴する証として、台座には宝石が埋め込まれており  
湧いている水は空に浮かぶ大地から湧き出る神聖な水。



## 貪欲な力が渦巻く死地

魔属性の背景は、冷たい死地をイメージ。

昼が訪れることはなく、異様なエネルギーがあたりに充満している。

強大な魔力が放たれ、あまりの力に岩や山等の自然物が削られており  
奥にある建物も元は美しい建物だったが、強い力で削られて今の姿になっている。

## 何処かに存在する遺跡

竜属性の背景は、古代の遺跡をイメージ。

古代にドラゴンたちが死闘を繰り広げていた場所に佇む遺跡で  
幾年月も過ぎ去ったのちに、地面が割れてところどころに溶岩が見えている。

天候はまるで、世界創世記のように荒れ狂っている。